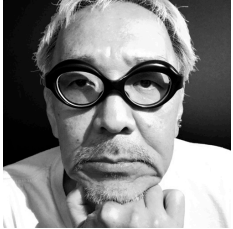


PiNMeN 20

アニメーション学科 池田爆発郎



CGアニメーター、ディレクター等を経てアニメーション作家。2020年より東京工芸大学芸術学部アニメーション学科に従事。短編アニメーション制作ユニット「ボムフォー64」主催。代表作に『PiNMeN』『PiNMeN rework』、『h-h-f』（「Birth - おどるいのち」より）、『ポーハム』シリーズ（ボムフォー64）など。日本アニメーション協会（JAA）理事。

現在ではごく普通に商業アニメなどでも使用されている「3DCGを2Dアニメーションのように描くセルシェーディング」。その黎明期に生まれたショートアニメーションシリーズ『PiNMeN』。アニマックスでの初放映から20周年を記念して『PiNMeN』『PiNMeN rework』全20話を特別編集。各話約3分をそれぞれ1分に編集した『PiNMeNショート』（全20話）と『PiNMeN エピソード1（ディレクターズカットHDアップコン版）』を上映。セルシェーディング（当時はトゥーンシェーディングとも呼ばれていた）の歴史に思いを馳せながら、20年の時を隔て時代にすり寄る実験。

